



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

**第5回例会**(7月31日)  
平成27年8月7日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 岩野 法光  
川徳デパート内 幹 事 吉江 信博  
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代) 会 報 福田 荘介  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～ クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

Be a gift to the world. 「世界へのプレゼントになろう」…………… K. R. ラビンドラン

ゲスト卓話



「医療報道の意義」

読売新聞盛岡支局長  
山口 博弥様

読売新聞では、1992年9月から朝刊で長期連載企画「医療ルネサンス」を掲載しており、今年2月には連載6,000回を超えた。現在も毎週月曜から金曜まで、くらし家庭面で連載を続けている。

1992年当時の医療記事は、最先端の研究段階の医療や、医療事故・不正請求といったニュースがほとんど。そんななか、医療ルネサンスは、身近な日常診療について、病気の解説や最新の診断法・治療法、予防法などを、患者さんの実例を挙げながらわかりやすく伝えることで、医療者と患者とのギャップを埋める架け橋になる記事を、という狙いでスタートした。

この企画は日本新聞協会賞や菊池寛賞、ファイザー医学記事賞大賞など様々な賞を受賞し、「医療の読売」と言われるまでになった。

ただ、連載を続けているうちに、もっと実用的な情報を求める読者が増えてきた。「この記事に書いてある治療は、どの病院で受けられるのか」「私の住んでいる地域で、胃がんの治療実績が多い病院はどこ？」などと、〈医療機関の情報〉へのニーズが高いことがわかってきた。そこで2004年4月から始めたのが、毎月第一日曜日の朝刊に掲載している「病院の実力」。全国の医療機関にアンケートを送り、手術件数や専門スタッフの数などを一覧表にして掲載することで、病院選びの手がかりにしておこうという企画だ。これらデータをまとめたムック本を、年に2回出版している。

こうした「お役立ち医療情報」が患者(国民)

●スピーカー紹介●

【略歴】  
1962年 福岡県出身  
1987年 早稲田大学法学部卒業  
読売新聞社入社、岐阜支局へ赴任  
1991年 本社地方部内信課  
1992年 本社社会部  
1995年 北陸支社富山支局  
1997年 本社医療情報室  
2000年 (医療情報部に組織改編)  
2004年 本社医療情報部主任  
2010年 本社医療情報部次長  
2013年 組織改編に伴い、医療部次長。  
2015年 盛岡支局長  
【主な著書】  
「こどもの医療が危ない」(共著)、中公新書ラクレ、2002年5月  
【趣味】  
武道(少林寺拳法三段、現在は心体育道黒帯)

に求められているとはいえ、研究段階の最先端の治療法を紹介する「従来型」の医療報道も重要であることは間違いない。

たとえば、おなかに開けた数か所の小さな穴に、小型カメラと手術器具を入れ、映像を見ながら手術を行う「腹腔鏡手術」は、25年前は最先端の研究段階の治療法だった。しかし今では、部位によってはがん手術でも保険がきく標準治療の一つになっている。

ただ、傷跡が目立たない腹腔鏡手術とはいえ、切除した臓器を外に取り出すためには、1か所はやや長めにおなかを切開する必要がある。この問題を解決すべく研究が行われている手術が、「NOTES」(経管腔的内視鏡手術)。胃の腫瘍を腹腔鏡でモニターしながら、女性の腔から入れた軟らかい内視鏡と組み合わせて切除し、切除した腫瘍は腔から取り出す。「究極の低侵襲(負担が少ない)手術」と呼ばれる。

このような最先端手術を報道によって広く周知することで、関心を持つ他病院の医師が見学し、技術を習得し、研究が広がっていく。やがては多くの患者がどこでも治療の恩恵にあずかれるようになるかもしれない。

一方で、医療の「影」の部分である医療事故・医療ミスの報道も、重要な医療報道の一つだ。手術は密室で行われ、また、医師と患者とでは医療情報や知識の差が大きいため、なかなか発

覚しにくい現状がある。こうした事案を報道機関が丹念な調査で発掘し、問題点を広く明らかにすることで、同様の事例の再発防止に広く役立てることができる。読売新聞が2014年11月に朝刊1面トップでスクープした「群馬大学病院の腹腔鏡手術で患者8人が死亡した問題」と一連の続報は、その典型例といえる。

ほかにも、2008年と2013年に読売新聞が行った「医療改革提言」では、医師不足や救急医療、産科医療、医学教育、医療費、産業化など医療制度の問題点を指摘し、改革の道筋を示す案を提示した。

ここまで紹介した〈医療報道の意義〉をまとめると、次のようになる。

- ・一般の人には難しい医療・健康の情報を、正確に、かつ分かりやすく噛み砕いて伝える
- ・患者の病院選びに役立つデータを提示する
- ・最先端の医療を紹介し、医療・医学の進歩に貢献する
- ・隠れていた医療事故・ミスを報道、その問題点を明らかにし、再発防止に役立てる

・医療制度について建設的な提言を行い、議論のたき台にしてもらう

そしてもう一つ、意義を挙げるとすれば、

・苦しむ患者の姿を紹介し、国民の理解が得られるよう働きかける

たとえば、私が取材した「頭痛の治療」(1997年)、「パニック障害」(1999年)、「わが子を亡くした時」(2002年)、「治らない痛み」(2014年)。共通するのは、「周りの人に理解されなかった自分の苦しみを、不特定多数の人が読む全国紙で取り上げてくれた」という患者からの感謝の言葉だ。がんや脳卒中など誰もが知っている病気と異なり、周りの人が「病気」だと理解しにくい病気の苦しみを紙面で広く紹介することで、患者は癒され、国民の理解が深まることで、さらに患者は救われる。

今では、多くの新聞やテレビが独自の医療コーナーを持つ。超高齢社会の今、医療報道は国民にとって最も関心が高く、最も重要な報道の一つと言っても過言ではないだろう。

## 例会報告

### 第5回例会 平成27年7月31日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司会 岩野法光会長
  - ・ソング それでこそロータリー
  - ・ゲスト 山口博弥様(読売新聞盛岡支局長)
  - ・ビジター 小保内義和君(盛岡北RC)
  - ・会長報告 岩野法光会長
  - ・幹事報告 吉江信博幹事

#### 【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡南R.C.=8月11日(火)は、定例会会場休館のため特別例会。

〈委員会報告〉星克彦親睦委員長  
納涼会、無事終了し、ありがとうございました。秋のゴルフ練習会は

9月27日(日)、安比高原 GCで開催します。多数の方の参加をお願いします。

#### 【ニコニコBOX】

◆岡本晃吉君…都市対抗野球で、日本生命が18年ぶり4度目の優勝を果たすことができました。何と延長14回の末、同じ大阪代表の大坂ガスに5-3の粘り勝ちでした。選手たちから勇気をもらいましたので、ニコニコボックスにメッセージを寄せて頂きます。

◆小川 惇君…昨日、八幡平カントリークラブで父親・娘・孫の三代仲良くプレーしているのを見ました。小学校5年の男の子はプレー前に帽子をとりおじいさん、お母さんにちゃんと挨拶をしていました。来週月曜日に行われるジュニア選手権に参加のために夏休みを利用して、東京からお母さんと田中堯史おじいさんにコーチをし

てもらっているということでした。真剣にプレーしているのでしょうが、親子三代はほえましい光景でした。

◆田中堯史君…2003~04年度受け入れのアラスカからの交換留学生キャサリン・コンプトンの結婚式に行って来ました。式場のオレゴンの農場は広大で、サワヤカリハーサルや前夜祭のパーティーを楽しみました。駒木さんの音頭あげに、ケイトは大粒の涙で感動しておりました。

◆岩野法光君…やっと、やっと1ヶ月が過ぎましたので。

#### ●メークアップ

盛岡北R.C.=平野・勝部君。盛岡南R.C.=金子・白石君。盛岡西北R.C.=佐藤(善)君。盛岡滝ノ沢R.C.=藤村(文)・橋本君。クラブ委員会=平賀・星・勝・駒木・楢崎・西田・岡本・諏訪・田中君。

出席報告

会員数 /70名

出席数 /47名

出席率 /71.21%

前々回 /75.76%

プログラムの  
お知らせ

- ・8月 7日(金) 新入会員卓話 佐藤善通会員  
「マイナンバー制度について」
- 14日(金) お盆休会

●本号編集担当 / 熊谷 隆司

●次号編集担当 / 金沢 滋